

星を見る会

ねん がつ にち きんようび
2016年11月4日（金曜日）

あき ほし み
「秋の星を見よう」

みなさんは、まん丸の満月を見たことがあるでしょうか？今年2016年は毎月1回ずつ満月がおとすれましたが、何回くらい見たでしょうか？いつもおなじように見えましたか？じつは、満月の見かけの大きさは毎回ちがいます。これは、月が地球のまわりをまわる（公転）ときの道すじ（軌道）がまん丸（円）ではなく少しつぶれた楕円だからです。月は、地球に近いときもあれば遠いときもあって、大きく見えたり小さく見えたりするのです。今月の満月は14日ですが、この日の満月は今年1年間で一番大きく見える満月です。しかも、今年のうちで月が地球にもっとも近づいた直後に満月になるのです（このような満月をスーパームーンなどと呼ぶこともあります。科学の用語ではありません）。人間の目では、「あ、今日の満月は大きいな。明るいな。」とはほとんど気づけませんし、今年一番小さい満月（4月でした）と空で比べることもできませんが、11月14日に昇ってきた満月を見たら、「あ、今日の満月は大きく見えているはずなんだな。」と思い出してもらえれば、そして「地球と月の間の距離はいつも同じじゃないんだな。」と知ってもらえればと思います。



2016年最大の満月
11月14日22時52分



2016年最小の満月
4月22日14時24分

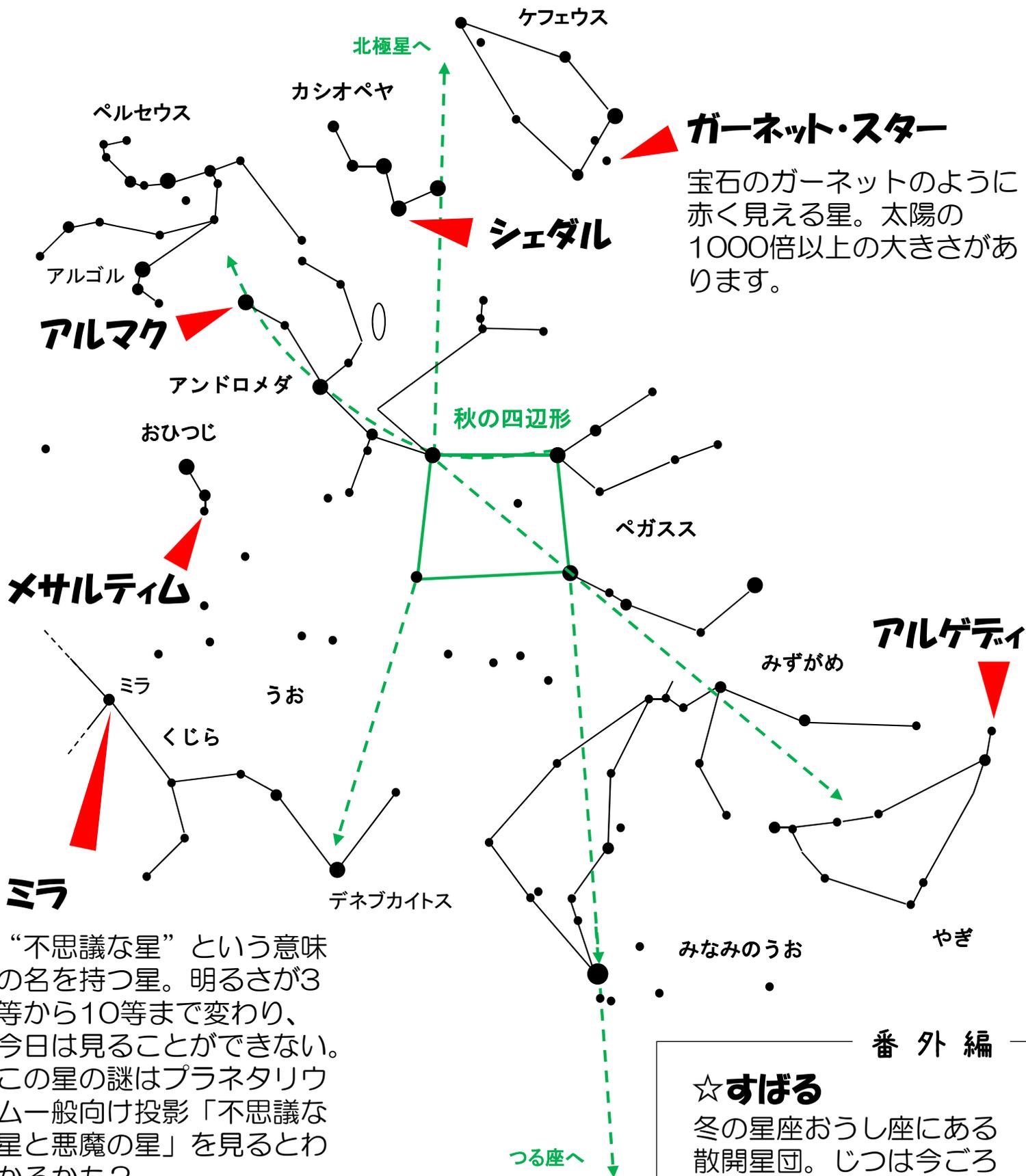
満月の大きさくらべ（イメージ） イラスト：みふねたかし

☆星空の地図：星図の見かた☆

星図は、あかるい星は大きく、くらい星は小さく書いてあります。東をむいて立つときは、図の「東」を下に、西をむいて立つときは「西」を下にしてもちましよう。星図の縁のまるい線が地平線、まるのまん中が頭の真上（天頂）です。

秋の四辺形をたよりに

秋の夜空は明るい星が少なくさびしい感じがします。その中でも、2等星3つと3等星1つからつくられる“秋の四辺形”は見つけやすい形です。それを頼りに秋の星を探してみましょう。



“不思議な星”という意味の名を持つ星。明るさが3等から10等まで変わり、今日は見るできない。この星の謎はプラネタリウム一般向け投影「不思議な星と悪魔の星」を見るとわかるかも？

番外編

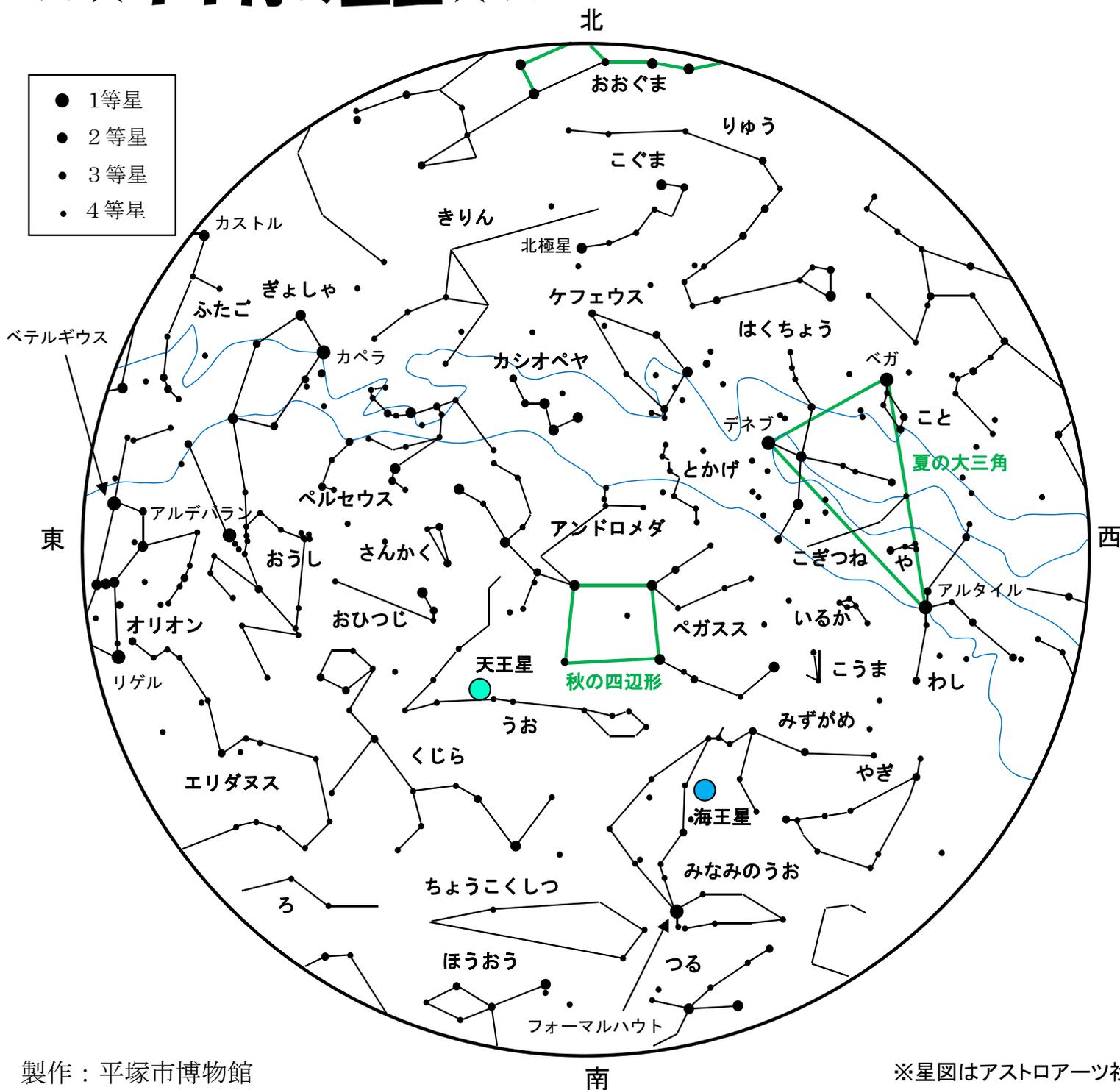
☆すばる

冬の星座おうし座にある散開星団。じつは今ごろが見やすい??

☆☆11月の星空☆☆

○●11月の月・惑星●○

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



惑星

- 水星: 下旬の明け方、東の空低くに見られますが、非常に見つけにくいです。
- 金星: 夕方の南西の空に見えます。
観望好機
- 火星: 夕方～宵の南西の空に見えます。
- 木星: 明け方の東の空低くに見えます。
- 土星: 夕方の南西の空低くに見えます。
- 天王星: 夜半すぎまで見られます。肉眼ではほとんど見えません。
- 海王星: 日付が変わった頃に沈みます。肉眼では見えません。

この星図は、
 11月 1日頃 21時
 11月 15日頃 20時
 11月 30日頃 19時
 の星空を示しています。

惑星は15日20時頃の位置です。